

教員の方へ

本資料は、**フューチャー・デザインの前段として、未来を具体的に想像するワークを行う教育機関（中学校・高等学校）向けワークショップの進行資料**です。所要時間は100分（45分×2コマと休憩10分）が目安です。

想定利用シーン：

- 中学校・高等学校の**総合的な学習（探究）等の時間の授業の一環**として、
 - 生徒が**未来志向**で考えられるよう、意識を醸成するために利用する
 - **受動的な学びにとどまらず、主体的で自由な発想を促す**ために利用する

画面下の「**発表者ノート**」欄に、**教員の方が進行する際に活用できるメモを記載**しています。

適宜ご参照ください。

※青枠のついたスライドは内容を変更できないよう保護しています。

ワークショップ進行時間の目安

教員向けスライド
※内容確認後削除可

| No | 項目 | 内容 | 時間 (分) | 担当 | 備考 |
|----|--|------------------------------------|-----------|----|----|
| 1 | はじめに | 本日の趣旨説明等、グループワークのコツ | 5 | 教員 | |
| 4 | ワーク1 未来を想像する | 未来想像会話カードの選定 | 10 | 生徒 | |
| 5 | | 未来想像会話カードの共有 | 15 | 生徒 | |
| 6 | | 未来社会の想像 | 15 | 生徒 | |
| 8 | 休憩・ バッファ | | 10 | — | |
| 9 | ワーク2 未来人になって 対話する (フューチャー ・デザイン) | 未来人になるコツの共有、未来に飛び立つ | 5 | 教員 | |
| 10 | | 20XX年の井戸端会議 | 20 | 生徒 | |
| 11 | | 選んだ未来の実現／回避のために、30年前の人々へのメッセージを考える | 10 | 生徒 | |
| 13 | まとめ | まとめ、振り返り等 | 10 | 教員 | |
| | | | 100 | | |

準備物

- 標準となる準備物は以下の通りです。
実際の実施環境に合わせてご準備ください。
 - ディスプレイ（進行スライド表示用）
 - 筆記用具
 - 印刷物（次頁参照）

印刷物・準備事項

教員が準備する印刷物は以下の通りです。

それぞれ以下のポータルサイト内「ツールボックス」よりダウンロードいただけます。

<https://www.futuredesign.go.jp/practice/?tab=toolbox>

- いにしえの人々（2020年代の人々）の未来想像会話カード（1グループ1部）
- メッセージ可視化シート（人数分）
- 未来想像ワークシート（人数分）
- メモ係用ワークシート（1グループ1部）
- なお、参加者の人数に合わせ、4～6名で1グループになるよう、グループ分けを行ってください。

※「未来想像会話カード」は、ワーク中に参加者に配付してご覧いただく構成としていますが、ワーク当日にあまり時間をとれない場合や、カードの内容についてじっくり参加者自身で考える時間を設けたい場合には、事前に配付しておくことも効果的です。

フューチャー・デザイン × 未来想像 ～将来世代にとって好ましい未来を 想像してみよう～

ワークショップ進行資料

2026年X月X日

目次

はじめに

ワーク1：未来を想像する

ワーク2：未来人になり対話する

ワーク3：2026年の人へ提言を送る

おわりに

はじめに

趣旨説明

おひとりずつ、以下のことを紹介してください。

- **未来に残したい、あなたの好きな
「あなたが住んでいる町の風景」は何ですか？**



グループ内で役割を決めましょう。

役割（1~2人ずつ担当）

- **ファシリテーター（1~2人）**：
時間を管理する・議論を進める担当
- **メモ係（1人）**：
議論に参加しながら、できる範囲で簡単にメモを取る担当
- **言いだし係（1人）**：
先陣を切って発言する担当
- **盛り上げ係（1~2人）**：
相槌を打つ、質問をするなどして議論を盛り上げる担当



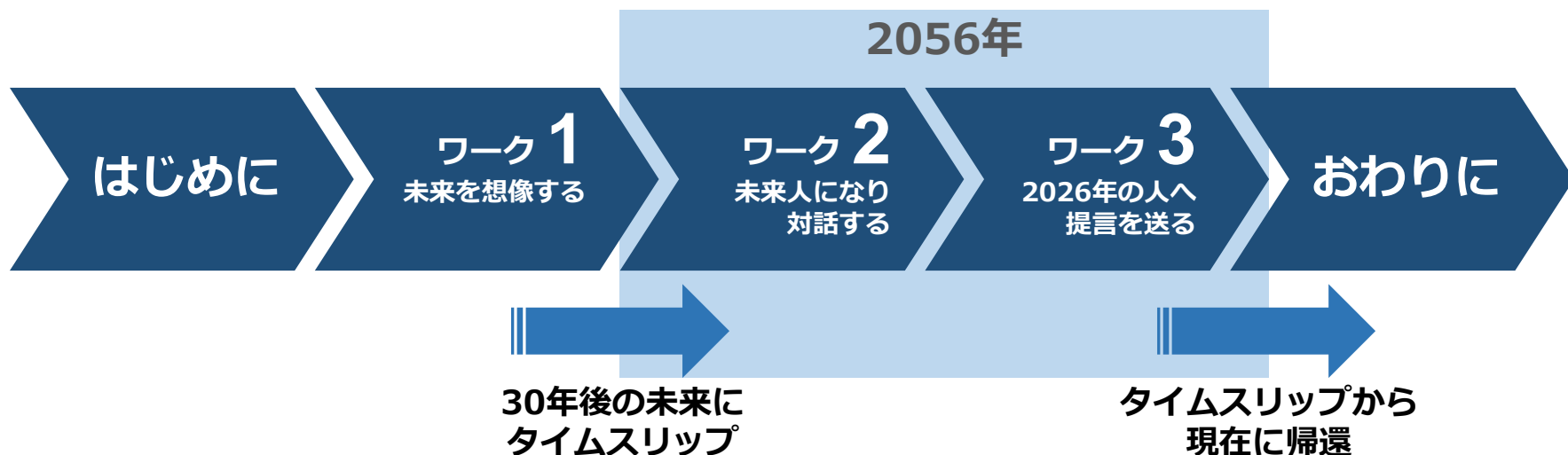
本日の全体像

ワーク1 : 2056年の未来を想像します

ワーク2 : 2056年に生きる未来人になりきって
話し合います

ワーク3 : 2056年に生きる未来人から、
2026年の人々に向けて提言を送ります

おわりに : ワークの振り返りを行います



1990年代の社会の様子は？

本日は2056年（30年先の未来）のことを想像しますが、30年前はどんな社会だったのでしょうか…？

政治・経済

- **東西ドイツ**が統一（90年）
- **湾岸戦争**勃発（91年）
- **ソ連崩壊**（91年）
- **バブル経済崩壊**（91年）
株価、地価が急落し、企業・金融機関の不良債権問題が深刻化
- **非自民非共産の細川内閣成立**により**55年体制が終結**
- **「失われた10年」**
長期不況・低成長・デフレが継続
- **就職氷河期**が続き、**失業率が3%を超える**

人口構造・暮らし

- **合計特殊出生率の「1.57ショック」**により**少子化**が意識され始める
- **東海道新幹線のぞみ**運行開始（92年）
- **消費税率5%**へ引き上げ（97年）
- **自動改札機**が首都圏や地方都市の駅に普及（Suicaは2001年～）
- **Windows 95**発売以降、PCが一般家庭に徐々に普及
- **携帯電話**（スマホではない）が一般に開放され徐々に普及

1990年代の学校の様子は？

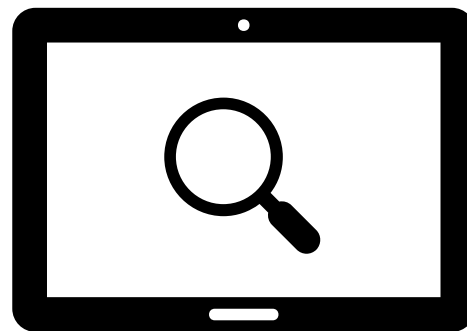
30年前の生徒はどのように勉強していたのでしょうか…？

知らない言葉があったとき…

1990年代
紙の辞書を引く



現在
タブレット端末でウェブ検索する





グループワークのコツ

グループワークを気持ちよく行うため、以下のことを意識しましょう。

- 議論を他人任せにせず、**積極的に自由に発言**しましょう。
- 正解はありません。**他の人の発言を受け止め、批判しない**ようにしましょう。
- 個人の**発言内容はこの場限り**で、**終わったら忘れ**ましょう。

ワーク 1

未来を想像する

① 未来想像会話カードの選定

グループワーク

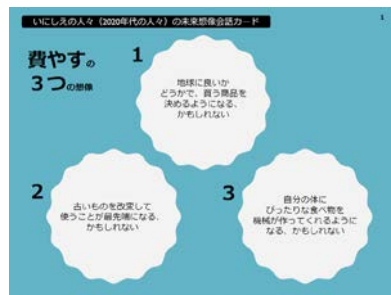
机の上に、「未来想像会話カード」があります。
9つの分類のうち、**1人2つ担当する分類を決めましょう。**

カードの9つの分類

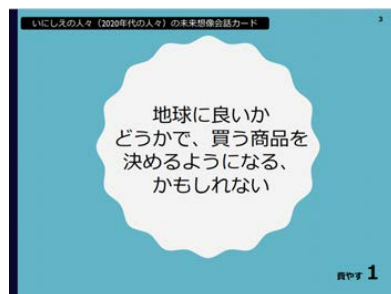
- 費やす
- 住む・暮らす
- 移動する
- 学ぶ
- いたわる
- 交流する
- 遊ぶ
- 育てる
- はたらく

「未来想像会話カード」の構成

表紙



表面



本文

裏面



2分

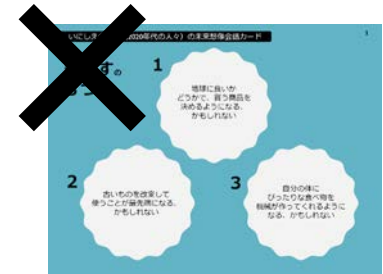
① 未来想像会話カードの選定

自分が担当するカードに目を通し、
面白いと思うものを2枚選び、
そのタイトルを未来想像ワークシートに
書き写しましょう。

ヒント：「面白い」とは

- 新たな変化の可能性を感じたもの
- 自分が知らなかったもの

注：表紙は選ばないでください



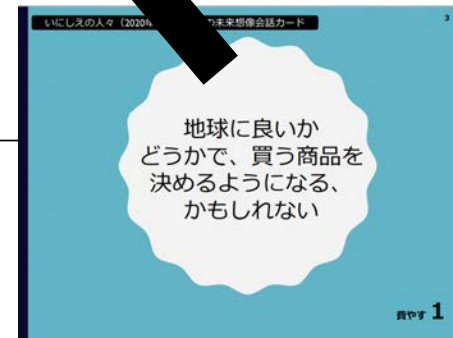
① 選んだカード(例)

地球に良いかどうかで、買う商品を決めるようになる、かもしれない

② 2056年の姿(例)

<メモ欄>

書き写す



4分

① 未来想像会話カードの選定

選んだカードの内容をきっかけに、
**2056年頃の未来の社会や地域の姿を具体的に想像し、
未来想像ワークシートに断定形で書き込みましょう。**

ヒント：2056年の姿の書き方

- 2056年に実現しているかわからないことでも構いません。
- 自由に想像した未来の姿を、できるだけ具体的に描きましょう。

※メモ欄への記載は必須ではありません。

① 選んだカード(例)

地球に良いかどうかで、買う商品を決めるようになる、かもしれない

② 2056年の姿(例)

スーパーやコンビニに置いてある全ての商品に、「この商品を買くと地球がこれくらい幸せになります」が笑顔のマークで示されている

<メモ欄>

- ・「地球の幸福度」を高める買い物とは、どのような買い物だろう？
- ・どの商品が「地球の幸福度」を高める商品かは、どのようにわかるのだろうか？



4分

②カードの共有

選定したカードと想像した未来の姿を共有しましょう。

- 未来想像ワークシートに書いた内容（カード2枚分）を、1人2分程度で説明し、ワークシートを卓上に置きましょう。

たとえば…

私は、「地球に良いかどうかで、買う商品を決めるようになる、かもしれない」を選びました。

この内容から、「未来にはどの商品が『地球の幸福度』を高める商品かわかるようになっているはず」だと考え、「スーパーやコンビニに置いてある全ての商品に、『この商品を買うと地球がこれくらい幸せになります』が笑顔のマークで示されている」と想像しました。

① 選んだカード(例)

地球に良いかどうかで、買う商品

② 2056年の姿(例)

スーパーやコンビニに置いてある全ての商品に、『この商品を買うと地球がこれくらい幸せになります』が笑顔のマークで示されている

<メモ欄>

- ・「地球の幸福度」を高める買い物とは、どのような買い物だろう？
- ・どの商品が「地球の幸福度」を高める商品かは、どのようにわかるのだろうか？

10分

③ 未来社会の想像

グループワーク

この後のワークで、皆さんが未来人になりきって暮らす**2056年の未来社会の姿**を、より具体的に想像します。

- **未来の社会はどうなっているかについて自由に議論**しましょう。

盛り上げ係さんへヒント：議論で問いかける問いの例

- その社会では、人々はどのように生活しているでしょうか？
- その社会では、まちの様子はどうなっているでしょうか？
- 今の社会と比べ、何がどのように変化したのでしょうか？

メモ係さんへ

- これからの議論内容を、メモ係用ワークシートに箇条書きで簡単にメモしましょう。
- きれいにメモを取ることで、議論に参加することが優先です。備忘のため、キーワードをメモしておくイメージです。
- メモを取り終わったら、ワークシートは卓上に置きましょう。

10分

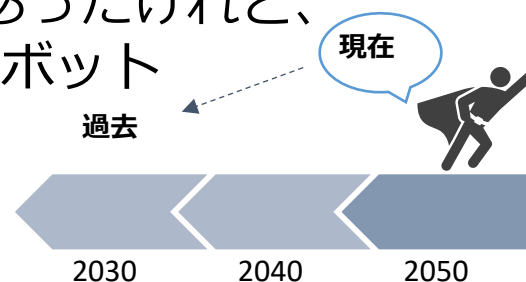
ワーク 2

未来人になり対話する



未来人になるコツ

- みなさんはこれから**ワーク1**で議論した**2056年の社会**に**生きている未来人**になります。
- **2056年のことを表現するときには「現在形」・「断定形」で、2056年より以前のことは「過去形」**で話しましょう。
 - 例1：「今はAIロボットが家事・育児をしてくれるから、
娯楽や自己研さんに時間が割けます。」（現在形・断定形）
 - 例2：「2025年にはお掃除ロボットはあったけれど、
家事や育児を全てまとめてしてくれるロボット
はいなかったそうです。」（過去形）





では未来に飛び立ちましょう！

今日は2056年X月X日です。皆さんは、XX市の高校に通う生徒です。

- **2056年の暮らしはどうですか？掘り下げて話し合みましょう。**
- 卓上には、**2056年の様々なシーン**を切り取ったワークシートが並べられています。ワークシートに書かれたシーンを基に、話し合みましょう。

メモ係さんへ

- 今から、議論内容をメモ係用ワークシートに箇条書きで簡単にメモしましょう。
- とくに、「2026年には想像されていなかったこと」（=ワーク1では登場しなかった内容）を積極的にメモしましょう。

15分

ワーク 3

2026年の人へ提言を送る

2056年から30年前の人々への提言

グループワーク

井戸端会議で話した2056年の暮らしについて、特に「嬉しい」または「困る」というものを1人1つ選びましょう。

嬉しい！

(例)
水筒に水を入られる
給水スポットがたくさんある

または

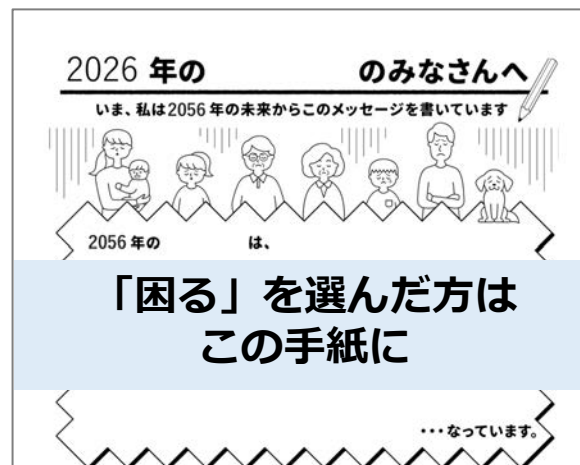
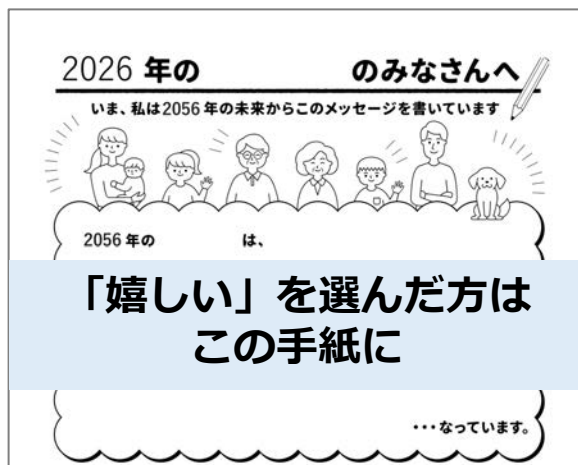
困る…

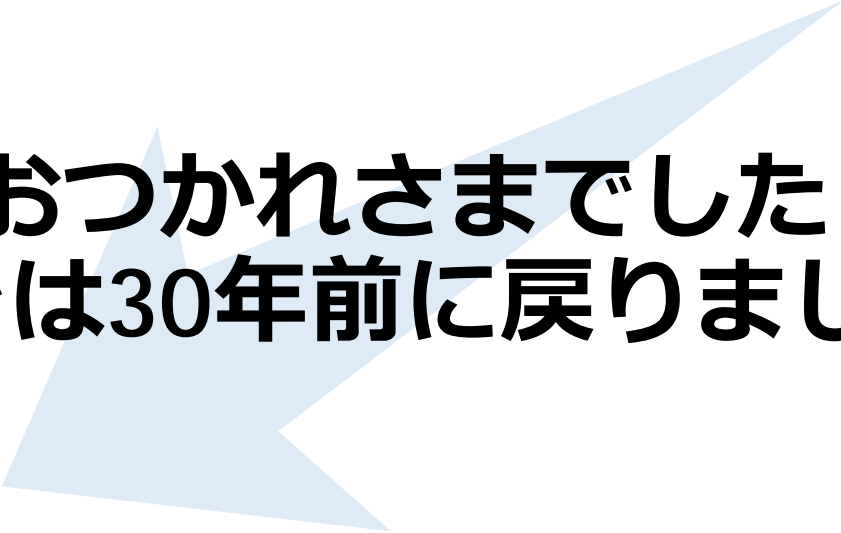
(例)
まちに緑を感じられる場所がない



2056年から30年前の人々への提言

- 選んだ「嬉しい」ことは2026年の方がどんなことに取り組んだからですか？
- 選んだ「困る」ことは2026年の方がどうすれば回避できたはずですか？
- **2026年の政府や自治体、企業、生活する人々などに向けて提言を送りましょう**（提言を送る先はどれか1つでもOKです）。





**おつかれさまでした！
それでは30年前に戻りましょう。**

おわりに

席替え

席替えをします。

- 各グループの**ファシリテーター**は
1つ後ろの番号のグループに移動しましょう。
- 各グループの**言いだし係**は
1つ前の番号のグループに移動しましょう。
- 各グループの**盛り上げ係**は
2つ後ろの番号のグループに移動しましょう。

振り返り

先ほど書いたメッセージを1人1分程度で読み上げて共有しましょう。

その際、自分のグループでの議論内容の共有も兼ねて、「なぜそのようなメッセージになったか」も説明しましょう。

2026年のみなさんへ
いま、私は2056年の未来からこのメッセージを書いています




2056年の は、
...なっています。

なぜかというど...

2026年のときから、
...しておいてくれたからです。

2026年の みなさん、本当にありがとう!

2026年のみなさんへ
いま、私は2056年の未来からこのメッセージを書いています



2056年の は、
...なっています。

それを避けるために、

2026年のときから、
...しておいてほしかったな。

現在世代と将来世代のトレードオフ

- **トレードオフとは、**
「何かを得る代わりに、何かを失う関係」のことです。
- **現在世代と将来世代は、**
「現在の利益を取れば取るほど、将来の負担が増える」というトレードオフの関係にあると言えます。
 - たとえば、現在世代が森林伐採をしすぎると、将来世代が森林資源を使えなくなってしまう。
- この関係性に気づくために、未来人になりきって、現在のしがらみから離れた発想をしてもらったのです。
- 私たちには、**自分が我慢してでも、将来世代のためになることをするとしあわせを感じる性質**が備わっています（例：親が自分を犠牲にして子のために行動する）。
それを発揮していくことが、持続可能な社会の実現につながるのではないのでしょうか。

振り返り

将来世代のために自分ができることは何でしょうか。

- 1人ひと言ずつ共有しましょう。

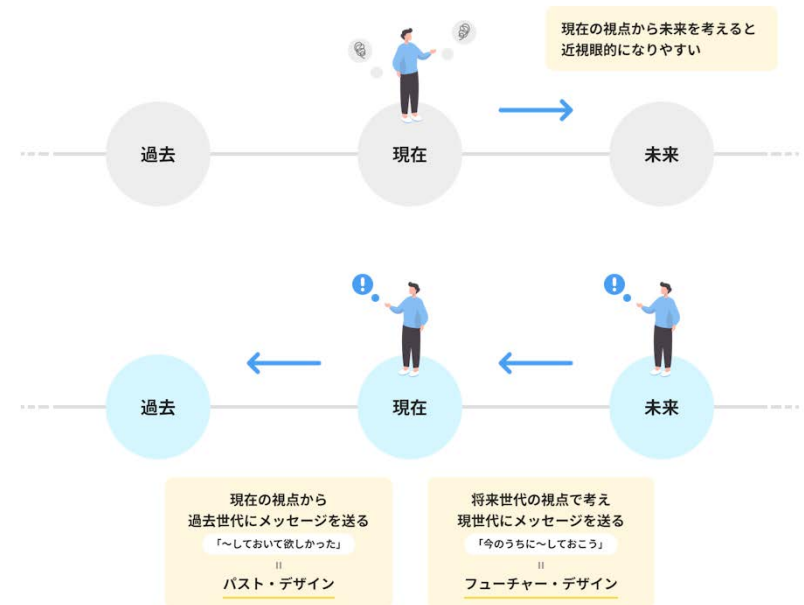
フューチャー・デザイン

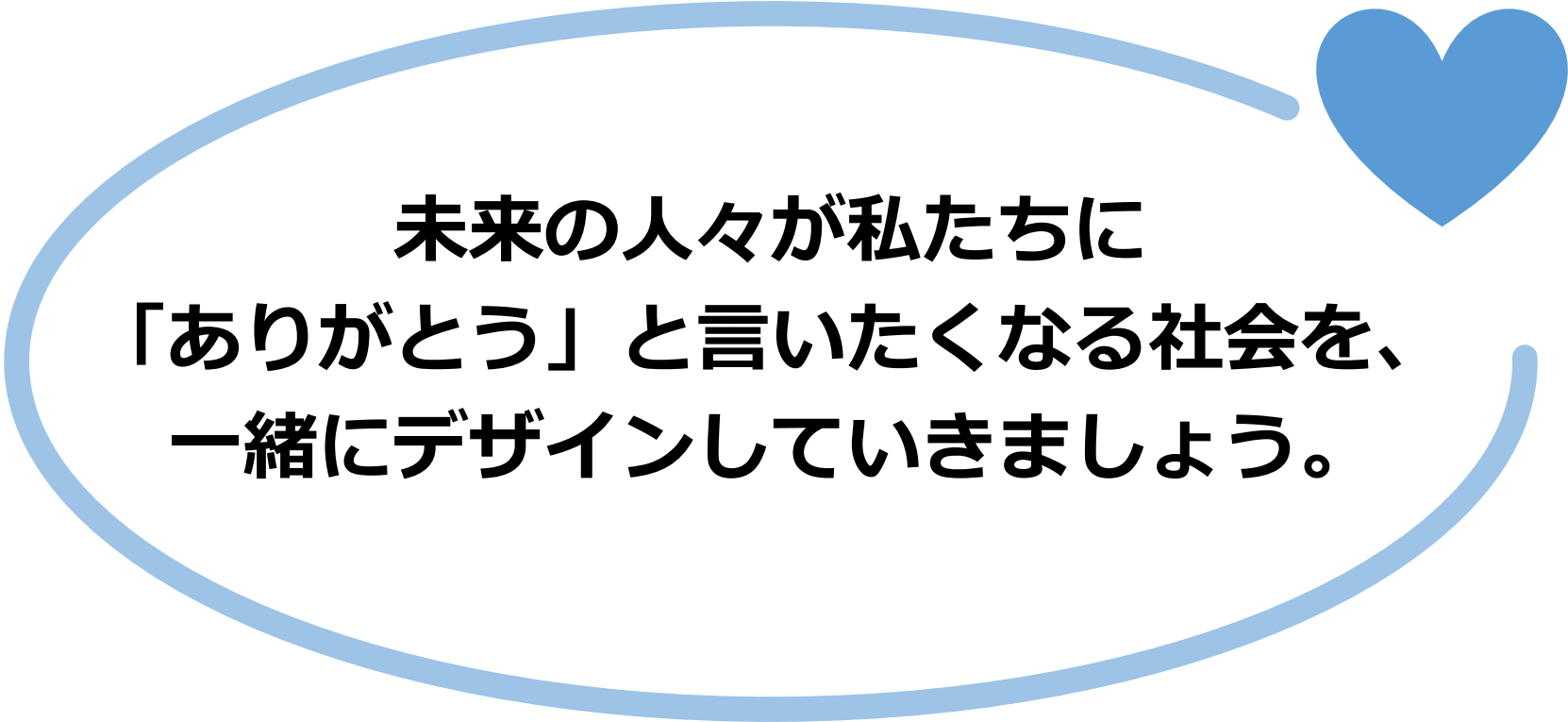
種明かし：

ワーク2・3では、実は「フューチャー・デザイン」という考え方を体験してもらっていました。

フューチャー・デザインとは：

- 私たちが近視眼的な意思決定をしてしまうと、気付かないうちに**将来世代に負の影響**を与えてしまうことになりかねません。
- 将来世代に負の影響を与えることを回避するために、
現在世代の議論の中に**仮想将来世代**（想像上の未来人）を参加させ、
未来について「将来世代の視点で」考えることで、
将来世代の利益も踏まえた意思決定を行えるようにする、
これがフューチャー・デザインの基本的な考え方です。





**未来の人々が私たちに
「ありがとう」と言いたくなる社会を、
一緒にデザインしていきましょう。**

参考資料

本資料のフューチャー・デザインの部分は以下のみなさまのワークショップ資料を参考に作成しました。

- 西條辰義 様（京都先端科学大学）
- 中川善典 様（上智大学）
- 岡本 剛 様（九州大学）
- 高橋雅明 様（岩手県矢巾町）
- 文田恵子 様（宮崎県木城町）

また、本資料の作成にあたっては倉敷哲生 様（大阪大学）よりご助言をいただきました。

中川善典様作成のマニュアル「フューチャー・デザイン実践のために」は以下のURLよりご覧いただくことができます。

<https://doi.org/10.20568/0002000037>

年 月 日() 年 組 名前: (グループ:)

フューチャー・デザイン×未来想像～将来世代にとって好ましい未来を想像してみよう～
未来想像ワークシート

1. 担当するカードの分類(2つ)を丸で囲みましょう。

費やす 住む・暮らす 移動する 学ぶ いたわる 交流する 遊ぶ 育てる はたらく

2. 担当するカード全ての中から2枚選び、選んだカードのタイトルを①の欄に書き写しましょう。

3. 選んだカードの内容から2056年頃の未来の社会や地域の姿を想像し、想像した未来の姿を断定形で②の欄に書き込みましょう。

※メモ欄には考えたことを箇条書きにするなど、自由に書き込みましょう。

① 選んだカード(1枚目)

② 2056年の姿

<メモ欄>

① 選んだカード(2枚目)

② 2056年の姿

<メモ欄>

年 月 日() 年 組 名前: (グループ:)

フューチャー・デザイン×未来想像～将来世代にとって好ましい未来を想像してみよう～
メモ係用ワークシート (ワーク1)

グループメンバー:

1. ワーク1「③未来社会の想像」での議論内容を、箇条書きで簡単にメモしましょう。

<メモ欄>

年 月 日() 年 組 名前: (グループ:)

フューチャー・デザイン×未来想像～将来世代にとって好ましい未来を想像してみよう～
メモ係用ワークシート (ワーク 2)

グループメンバー:

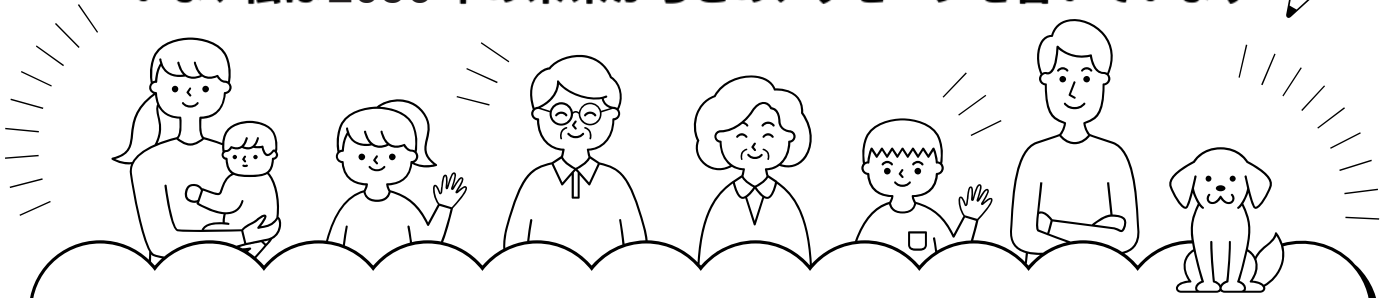
2. ワーク 2「2056 年の井戸端会議」での議論内容を、箇条書きで簡単にメモしましょう。

<メモ欄>

2026 年の

のみなさんへ

いま、私は2056年の未来からこのメッセージを書いています



2026年の

は、

...なっています。

なぜかというと...

2026年のときから、

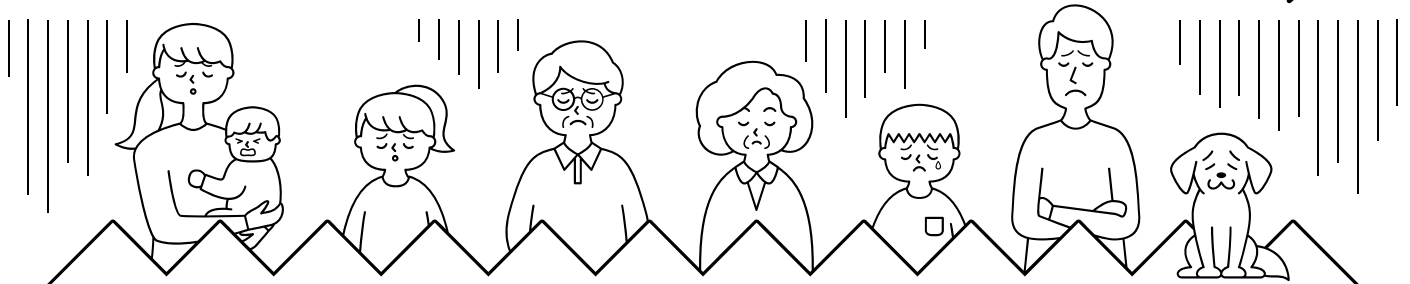
...しておいてくれたからです。

\ 2026年の のみなさん、本当にありがとう /

2026 年の

のみなさんへ

いま、私は2056年の未来からこのメッセージを書いています



2056年の

は、

・・・なっています。

それを避けるために、

2026年のときから、

・・・しておいてほしかったな。